

1. 化学製品および会社情報

薬品名 : Stabilization and Drying Solution Agilent PN 5185-5979 / 5190-0423
製品番号 : 5185-5979 / 5190-0423
製造業者 / 供給者 : 会社名 Agilent Technologies, Inc.
 住所 2850 Centerville Road Wilmington
 Delaware 19808, USA
緊急電話番号 : 緊急連絡先 アジレント・テクノロジー株式会社
 住所 東京都八王子市高倉町9-1 (〒192-8510)
 担当部門 カスタムコンタクトセンター
 電話番号 0120-477-111
 FAX 番号 0120-565-154

2. 組成/構成成分情報

物質/製剤 : 製剤

構成成分	CAS 番号	%	化学式	METI	労働省	PRTR
acetonitrile	75-05-8	98.23	C2-H3-N	(2)-1508	データなし。	第一種

物質/製剤の使用方法 : 500 ml. 分析用標準物質

3. 危険有害性の要約

健康への慢性効果の可能性

発ガン性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
変異原性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
生殖毒性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
物理的/化学的危険有害性 : 易燃性。
危険有害性分類 : 引火性液体
 猛毒性。

4. 応急措置

吸入した場合 : もし吸入したら、新鮮な空気のある場所に移動させる。呼吸が停止している場合、人工呼吸を行う。呼吸が困難な場合、酸素を供給する。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合 : 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。
皮膚への接触 : 接触した場合、直ちに皮膚を水で十分に洗い流す。汚染された衣服および靴を脱がせる。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。
眼に入った場合 : 接触した場合、直ちに多量の水で15分以上洗眼する。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消化媒体

適切 : 粉末化学消火剤、炭酸ガス、ウォータースプレー、泡消火剤を使用する。
不適切 : ウォータージェットを使用してはならない。
暴露による特定の危険有害性 - 爆発性 : 引火性の高い液体および蒸気。蒸気は発火の原因となることがある。蒸気が低い場所や囲われた場所に蓄積したり、あるいは発火源まで相当な距離を移動しフラッシュバックを引き起こすことがある。流出物が下水道に流れ込むと、火災や爆発を引き起こす危険性がある。

5. 火災時の措置

消防士用の特殊保護具 : 消防士は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具 (SCBA) を装着しなければならない。

6. 漏出事故時の措置

個人保護 : 直ちに緊急要員に連絡する。関係者以外を近づけてはならない。適切な保護具を使用する (セクション 8)。

環境予防措置 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

洗浄方法 : 少量漏出の場合、吸収剤 (適切な物質がない場合、土を使用してもよい) をかけ、物質をすくい集め、耐液性密封容器に収容する。大量漏出の場合、漏出物の周囲に流出止め用の囲いを作るか、もしくは流水が水路に流れ込まないようにする。漏出物は適切な廃棄容器に収容して廃棄する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い : 摂取してはならない。眼、皮膚および衣類への接触を避ける。容器を密閉して保管する。換気が十分な場所でのみ使用する。蒸気や噴霧の吸入を避ける。熱、火花および炎に近づけてはならない。火災や爆発を防止するため、容器を接地して運搬中の静電気を放電させると共に、物質を移し換える前に容器と用具を電氣的に接続する。防爆型の電気装置 (換気設備、照明用具、物質取扱い用具) を使用する。取扱い後は、十分に洗浄する。

保管 : 隔離され認定された場所に貯蔵する。容器は換気の良い冷所に保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いかなる発火源 (火花あるいは炎) にも近づけてはならない。

8. 暴露防止および保護措置

設備対策 : 換気が十分な場所でのみ使用する。ユーザーの作業により粉塵、ヒューム、蒸気またはミストが発生する場合は、作業行程の囲い込み、局所的排気通風装置あるいはその他の技術的制御により、作業者の空中に浮遊している汚染物質への暴露を、全ての推奨値あるいは法定限度以下に保つこと。ガス、蒸気あるいは塵埃の濃度を暴露限界以下に保つためには技術的な管理も必要となる。爆発防止加工済み換気設備を使用する。

個人保護

眼 : リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミストあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。

手 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。

呼吸関連 : リスク評価によって必要とされるときは、承認された基準に合格した、身体に良くあつた空気清浄機能付、または外気供給式の呼吸装置を使用する。使用する呼吸保護具の選択は、既知もしくは予測される暴露量、薬品の危険有害性、呼吸保護具が安全に使用可能な限界値に基づかねばならない。

皮膚 : 作業者の身体保護のための装置は、行われる作業の内容および関連するリスクにもとづいて選択されており、さらにこの製品を取り扱う前に専門家により承認を受けている必要がある。

衛生措置 : 化学製品を取り扱ったあとは、食事、喫煙およびトイレの使用前および作業時間の最後に、必ず手、前腕および顔を洗う。汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。汚染された衣類は、再着用の前に洗濯する。作業場所に近いところに洗眼スタンドと安全シャワーを必ず設置する。

9. 物理的および化学的性質

物理的状態 : 液体。

沸点 : 既知の最低値 : 81.67°C (179°F) (acetonitrile).

融点 : 凝固温度 : -41.9°C (-43.4°F) 基準データ : acetonitrile.

引火点 : 密閉式 : -18□ から 23□ のあいだ。

爆発限界 : 低 : 4.4% 上限 : >13%

9. 物理的および化学的性質

- 比重** : 既知の数値 : 0.787 (水=1) (acetonitrile).
溶解性 : 次の液体に溶解する : 冷水、温水、メタノール.
蒸気密度 : 既知の最高値 : 1.42 (空気 = 1) (acetonitrile).
蒸発率 (ブチルアセテート =1) : 2.33 (acetonitrile) 比較する 酢酸ブチル.
自己発火温度 : 524°C (975.2°F)

10. 安定性および反応性

- 安定性** : 本品は安定である。
回避すべき物質 : 次の物質と非常に反応性あるいは危険配合製 : 酸化性物質、還元性物質、酸、アルカリ および 湿気.

11. 毒性情報

毒性データ

製品 / 成分の名称
acetonitrile

テスト	結果	経路	種類
LD50	2460 mg/kg	経口	ラット
LD50	50 mg/kg	経口	ラビット
LD50	177 mg/kg	経口	モルモット

局所的な影響

- 眼に入った場合** : 眼を刺激する。
皮膚への接触 : 皮膚と接触すると有害性。
吸入した場合 : 吸入すると有害性。
飲み込んだ場合 : 飲み込むと有害性。
発ガン性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
変異原性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
生殖毒性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

慢性毒性

- 飲み込んだ場合** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
吸入した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
皮膚 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

12. 環境影響情報

環境毒性データ

製品 / 成分の名称
acetonitrile

種類	期間	結果
Daphnia magna (LC50)	96 時間	>100 mg/l
Pimephales promelas (LC50)	96 時間	>100 mg/l
Pimephales promelas (LC50)	96 時間	1640 mg/l

13. 廃棄上の注意

- 廃棄方法** : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。

14. 輸送上の注意

適用法令	UN番号	輸送固有名	クラス	PG*	ラベル	追加情報
MDGクラス	1648	Acetonitrile	3	II		-
IATA クラス	1648	Acetonitrile	3	II		<u>数量制限 - 旅客機</u> 5 L <u>数量制限 - 貨物輸送機</u> 60 L <u>梱包に関する指示</u> 305 <u>留意点</u> 送り主から危ない商品の宣言を要求する

PG* : パッキンググループ

15. 適用法令

日本の取締法

- 消防サービス法 : 第4類 特殊引火物
- 毒物及び劇物取締法 : 毒物：該当。
毒性：データなし。
特定毒物：データなし。
- 労働安全衛生法 : 引火性液体 クラス 2
引火性液体 クラス 3

16. その他の情報

- 印刷日 : 5/22/2007.
- 発行日 : 5/22/2007.
- バージョン : 0.01

読者への注意事項

危険有害性の評価は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。すべての化学製品には、未知の危険有害性がありえるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。